静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
1	淡島神社	旧地	古庄のおしゃもじさん		神社隣の畑に大正末期まで樹木が１本立っていた。ここを「おしゃもじさん」と呼んでいた。（東豊田郷土誌）	×	静岡市葵区	古庄２丁目 字宮越平１－８３	社宮司祠	左口社	社宮司祠			左宮司社 （さぐつさん）	2022/7/23
2	横田町西宮神社	旧称	左口神社	猿田彦命	昭和三年に左口神社から西宮神社に改称 院内（陰陽師）が信仰する北辰妙見と習合したシャグジと思われる。	○	静岡市葵区	横田町５－２４	左口司社	左口神社 恵比須社				左宮司	2022/11/10
3	新伝馬白髭神社	合祀	左口神社	八衢比古命 八衢比賣命	かつて隣村の松富下組村の貴庵寺境内に鎮座した左口神社を産土神として信仰。 弘化三年、白髭神、左口神を勧請奉祀して白髭社と称す。 （静岡市神社名鑑）	○	静岡市葵区	新伝馬３丁目１４－３							2023/2/4
4	門屋八幡宮	境内社	左口神社	八衢比古命 八衢比賣命	八幡宮は門屋村の産土神であり、村内にあった小祠が境内に寄せられている。 左口神社もその一つである。	○	静岡市葵区	門屋１０９３	社宮司社		社宮司社			社宮司社 （おさぐつさん）	2023/2/4
5	郷島浅間神社	合祀	三五神社	八衢比古命 八衢比賣命 久那斗神	神社名鑑では浅間神社の祭神に八衢比古命と八衢比賣命も挙げられているが、三五神社の合祀に関する記載はない。 一方、明治三十一年に合祀したという三島神社は郷島に鎮座した記録がないため、三五神社の誤記と思われる。	○	静岡市葵区	郷島３７３	左宮司社		左口司社			左口司社	2023/2/4
6	落合左口神社・ 白髭神社	本社	左口神社	猿田比古命 誉田別命	寛永八年創建。玉川地区では白髭神社が主流であり、合祀等を含め、当社が唯一の現存するシャグジのようである。	○	静岡市葵区	落合１４０４	左口司社						2021/7/25
7	大渡神社・ 佐久地神社	合祀	佐久地神社	猿田彦命	明治八年、黒俣村上和田にあった佐久地（さくち）神社を大渡神社に合併（安倍郡清澤村誌）	○	静岡市葵区	黒俣１０９８－１	左宮司	左口神社	左宮司社				2021/9/20
8	安東熊野神社 境内社 五社神社	合祀	佐口神社	八衢比古命 八衢比賣命 久那斗神	五社神社（荒神社、津島神社、塞神社、稲荷神社、佐口神社） 大正十四年境内社を合併	○	静岡市葵区	安東１丁目６－４	左口司					左口司社	2022/6/28
9	北沼上八柱神社	合祀後 分祀	左口神社	久那斗神 八衢比古命 八衢比賣命	大正二年八月二十四日同所坂下鎮座無格社左口神社を合祀 昭和二十二年同左口神社を分祀（現在地不明）	？	静岡市葵区	北沼上９１５	左口司社	左口社					2022/8/28
10	田ケ谷左口神社	本社	田ケ谷左口神社		千代田誌に「シャモジ社」とある。 かつては山上で祀っていたが、社地が崩れ、現在地に遷したという。	○	静岡市葵区	北沼上字田ケ谷６６７							2022/8/28 2023/9/17
11	川合社口神社 （お杓子さん）	旧地	川合社口神社 （お杓子さん）	不詳	川合と上土との中間の沿道にあった小祠。昭和十年頃同地に建設された清水水産罐詰工場が管理していた（千代田誌）が、現在は痕跡を見出せない。	×	静岡市葵区	川合２丁目（社口）						左宮神社	2022/10/8
12	瀬名川菅原神社	境内社	社宮司神社		文献資料は江戸期の地誌以外に見当たらないが、境内社として現在も祀られている。	○	静岡市葵区	瀬名川２丁目 字小坂給１８－１６	左宮司社	三狐神	左宮司社			左宮司社	2023/7/2
13	丸子稲荷神社元宮	境内社	左口神社	猿田彦命	丸子稲荷神社は昭和五十三年に本社を当地西側に遷宮 残地神域は稲荷神社元宮として、境内社の左口神社（猿田彦命）などを奉斎 （瀧本雄士「丸子路の史跡めぐり」）	○	静岡市駿河区	丸子字泉ヶ谷	左口司社		社宮司祠				2022/9/11
14	丸子津島神社	境内社	左口神社	猿田彦命	独立社殿に祀られる。	○	静岡市駿河区	丸子字戸斗谷１８１３	左口司社	左口社	左宮司			左口社	2022/9/11
15	丸子谷津神社	合祀	左口神社	猿田彦命	左口神社　祭神猿田彦命（長田村誌）	○	静岡市駿河区	丸子字細工所４７９０－１	左口司社		社宮司社			左口社	2022/9/11
16	小坂日枝神社	合祀	左口社	少彦名命	日枝神社　相殿　宇気持神、少彦名命、素戔嗚尊（長田村誌） このうち少彦名命が左口社の祭神と考えられる。	○	静岡市駿河区	小坂字高嵐１４３３－２		左口社					2024/11/24
17	用宗浅間神社	境内社	左宮司社		神社名鑑では左口社とされる。	○	静岡市駿河区	用宗城山町２０－５	社宮司社		社宮司社			社宮司社	2023/2/11
18	鎌田八幡神社	合祀	左口神社	猿田彦命	鎌田村字左口にあった左口神社（祭神猿田彦命）を明治二十四年十二月八日に合祀（静岡市神社名鑑）	○	静岡市駿河区	鎌田３８２	社宮司社		社宮司			社宮司社	2022/9/11
19	栗原社宮司社	旧地	栗原社宮司社		（東豊田郷土誌）	×	静岡市駿河区	栗原	左宮司社	左口社	左宮司社			左宮司社	2022/5/5

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
20	中吉田左宮司社	旧地	中吉田左宮司社		「電車線踏切の北側、吉田川東岸の道の傍だったが、この辺り一昨年の七夕豪雨の出水で変貌し跡方もない。（民俗しずおか第15号「左宮祠覚書」昭和51年12月）」	×	静岡市駿河区	中吉田字散田口１１９４	左宮司社	左口社	左宮司祠			左宮司社	2023/4/1
21	中吉田左宮司社	旧地	中吉田左宮司社		「今日石村金属という工場の敷地になり、整地されて知るべくもない。（民俗しずおか第15号「左宮祠覚書」昭和51年13月）」	×	静岡市駿河区	中吉田字壱反所１７５	左宮司社	左口社	左宮司祠			左宮司社	2023/4/1
22	谷田左宮司社（しゃもじ社）	旧地	谷田左宮司社（しゃもじ社）		「谷田の氏神の西方程ない所に大きなもちの木を中心に二、三本の木があり、その下に何も刻まれていない六、七十センチばかり細長い自然石が一個倒れている。」（民俗しずおか第15号「左宮祠覚書」昭和51年12月）とあるが、現存は確認できていない。写真記録あり。	×	静岡市駿河区	谷田字宮の前１２４						左宮司社	2022/7/23
23	宮本町神明神社	合祀	左口神社	猿田彦命	明治四十年、旧川辺村の左口神社を合祀	○	静岡市駿河区	宮本町９－３０	左口司社					社宮司	2022/6/30
24	静岡八幡神社	合祀	左口神社	保食神	明治四十一年、八幡字大屋敷から合祀 稲荷神社といわれた。	○	静岡市駿河区	八幡山４	左口司社	左口社					2023/3/11
25	高松神社	境内社	左口神社	猿田彦命	左口神社はかつて村の北方に鎮座し、槙、松、樟が多くあったという。明治二十年に高松神社に寄せられた。静岡市神社名鑑では境内社、静岡市史では合祀とされ、高松神社は素戔嗚尊、天照皇大神、猿田彦命の相殿とされる。 なお、駿河国新風土記は高松三ヶ村に一所ずつ「左口社」があったとする。	○	静岡市駿河区	高松字神明原１５７１		左口社				おさもつさま	2022/6/19 2024/12/25
26	敷地左宮司社	小祠	左宮司社		大正二年の大里村誌に「今某氏北に其跡あり 新風土記に敷地にありと見えたるもの是なるべし 駿河志料に－左宮司社小祠なり－と見えたるもの亦是なるべし 里人云当地に田圃を開く頃用ひたる縄を埋めて祭れるなりと」とある。	○	静岡市駿河区	敷地	左宮司社	左口社	左宮司社			社宮司社	2024/12/25
27	少将井神社	境内社	左口神社	猿田彦命	明治二十二年に手越字藤ノ木鎮座の左口神社（猿田彦命）を境内社としたが、後に合祀。左口神社は江戸初期の元和創建と伝わる。	○	静岡市駿河区	手越２０２	左口司		社宮司社			左口司社	2022/9/11
28	入江白髭神社	末社	左宮司神社	猿田彦命	院内（陰陽師）を起源とするシャグジか。	○	静岡市清水区	入江１丁目１３－１７							2022/10/15
29	長崎新田佐口神社	本社	佐口神社	保食命	明治十四年の駿河村誌には、「手置帆負命、彦狭知命を合祭」とある。	○	静岡市清水区	長崎新田２７５			左宮司社				2020/12/27 2023/1/8
30	御穂神社	境外摂社	三保佐久神社	猿田彦大神	享保六年（1721）の「駿河國三穂社記（別宮摂社考）」に、「左久神（サグジン）三保村森ノ中ニアリ」とある。雙栗（サクリ）神社ともされる。 三保村誌（大正二年）には「杓文字神社」として記載され、検地の際に用いた竿を納めた「竿神社」の転訛とされる。	○	静岡市清水区	三保字北方３０５６		左久神社	雙栗神社				2022/10/22
31	馬走神社	合祀	社子司社	不詳	明治三十九年、字坂の下にあった社子司社を合祀（由緒書）	○	静岡市清水区	馬走８－１２	左宮司社	左口社	左宮司社			左宮司社	2022/5/5
32	増神明社	合祀	佐栗神社	猿田彦命	鎌倉期の元仁元年（1224年）創建とされる。 明治元年に左宮司社から佐栗神社に改称。大正五年に神明社に合祀 明治十四年の駿河村誌では保食神を祭るとする。	○	静岡市清水区	増２０６							2023/2/6
33	宮加三神社	相殿	左宮司神社	猿田彦命	駿河志料、駿河記の三澤の項に「田の中にあり」とある。 駿河國新風土記では「産土八幡大棟梁左宮司三社相殿の社あり」とされる。	○	静岡市清水区	宮加三字居屋敷４３２	左宮司社	左宮司社	左宮司社			左宮司社	2023/6/10
34	興津社護神社	本社	社護神社	天照大御神 猿田毘古神	貞享三年の古図に社護神の記載あり。昭和八年、社殿焼失して古記録等存せず、昭和九年社殿を新築するも、参道崩れ維持困難なため、平成二十四年、茨原神社に合祀された。（茨原神社由緒書）	×	静岡市清水区	興津本町７６３							2021/10/24 2023/10/7
35	茨原神社	合祀			平成二十四年、山の中腹にあった旧地（字滝の沢７６３）から麓に移転。 移転に伴い上記の社護神社を合祀	○	静岡市清水区	興津本町６４２－７							
36	女体の森宗像神社	境内社	猿田彦大神	猿田彦大神	境内社の猿田彦大神は「東海道分間延絵図」にある「社古地ノ森」ではなかったか。	○	静岡市清水区	興津中町５５４							2023/10/7

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
37	尺詰神社	石碑	尺詰神社		尺詰（しゃぐじ）神社。北田から阿僧の三叉路を白井沢方面に少し行った段丘地に「オシャモッツアン」と呼ばれる社が祀られていた。現在は一面のミカン畑で、その畑の片隅に「尺詰神社」と刻まれた一米程の石碑が立っている。 古老の話によると、夜泣きどめの神様とか、小便の神様とか言って、お果しには油あげを供えるという。（ふるさと由比-歴史散歩編-）	△	静岡市清水区	由比北田字上野	左宮司		左宮司社			尺詰神社 （おしゃもったん）	2023/4/22
38	龍雲寺	境内社	社口大明神		龍雲寺の裏山中腹に「社口大明神」があったという。	○	静岡市清水区	蒲原２丁目１２－１０							2023/5/4
39	承元寺八幡神社	合祀	社口社		承元寺八幡神社は隣接する神護山承元寺の鎮守社である。明治三十九年に社口社を合祀した。	○	静岡市清水区	承元寺町字下山６４８							2023/5/21
40	八木間左口明神	文字碑	左口明神		「清水市石造文化財調査報告書」に八木間町浄蓮寺上の左口明神の文字碑（角柱）が報告されている。現存は未確認	？	静岡市清水区	八木間町							2025/1/12
41	小島のおしゃもじさん	小祠	小島のおしゃもじさん		拝むと子供の夜泣きがおさまるといわれている。 シャグジであることは忘れられてしまったようだ。	○	静岡市清水区	小島町字栗原南沢入口							2022/6/4
42	尾羽のおしゃもじさん	小祠	尾羽のおしゃもじさん		尾羽の宮平に「おしゃもじさん」という小高い場所があって、ここを掘り起こすと「オコリ」をふるうと言い伝えられていた。今はみかん畑となっている。 （民話・伝説・小字の由来「いほはら」）	×	静岡市清水区	尾羽字宮平							2023/4/29
43	杉山八柱神社	合祀	作工司大明神	不詳	旧庵原郡杉山村にあった氏神八社を合祀した神社であり、八社のうち「作工司大明神」がシャグジと考えられる。	○	静岡市清水区	杉山４２６	左口司社		左宮司社			左宮司社	2023/4/29
44	伊佐布伊勢神明社	境内社	左口神社	不詳	「左口社は大上より明治八年に遷宮す。大上の最旧家と称する朝倉角太郎屋敷内に在りしものなり」（庵原村誌）また、下伊佐布にも山田家が祀る左口社があった。	○	静岡市清水区	伊佐布４０３	左口司社		左宮司社			左宮司社	2021/12/19
45	押切八幡神社	相殿	左口神社		八幡神社、白髭神社、左口神社による三社相殿。江戸時代後期には既に相殿となっており、当時左口神社は「三狐神」と称した。 三狐神は田の神とされる。読みは「さぐじ」であり、シャグジの一種でもあるため、その後「左口」の表記に変更されたものと思われる。	○	静岡市清水区	押切１１９８	三狐神	三狐神社	三狐神				2022/10/15
46	蜂ヶ谷八幡宮	境内社	佐口神社		佐口（さくう）神社。合祀の経緯等を示す資料が見当たらない。	○	静岡市清水区	蜂ヶ谷字八幡山３０６							2023/9/10
47	下野浅間神社	境内社	三狐神		三狐神は浅間神社境内の別棟に奉斎される十二天尊と共に祀られる。 当社が鎮座する字前田に接する字三狐神に鎮座していたシャグジと思われる。	○	静岡市清水区	下野町８－２４	社宮司社		左宮司社			左宮司社	2023/2/6
48	伊場賀茂神社	合祀	斜口神社	斜口宮大神	明治七年五月十一社を合併（浜松市神社名鑑） 明治初年に、旧伊場町にあった八面荒神・神明・十七夜・雨宮・水神・斜口・大日・建速・御誓・木船・伊雑宮などを合祀（浜松の史跡 続編）	○	浜松市中区	東伊場１丁目１７－１						斜口神社 （おしゃぐつさま）	未踏査
49	笠井町春日神社	境内社	社宮司神社	猿田彦大神	本町倭下林ニ鎮座アリシヲ明治七年合併ス（笠井町郷土の俤）	○	浜松市東区	笠井町１３４８－１							未踏査
50	赤宮（じゃぐう）神社	本社	赤宮（じゃぐう）神社	猿田彦命	貞観年間の創立と伝えられる。	○	浜松市東区	上西町８８３						赤宮神社	未踏査
51	積志町神明神社	合祀	社宮司社	猿田彦命		○	浜松市東区	積志町１０２１							未踏査
52	三社山神社	境内社	赤宮神（しゃぐじん）の祠	赤宮神	オシャモッツァマ	○	浜松市西区	入野町４９９０－２							未踏査
53	雄踏町山崎三島神社	境外末社	山宮神社	山宮神	しゃぐうじ、おしゃまつさま、祝神、おしゃぐつさま 近隣に山宮神（しゃぐじ）公園がある。	○	浜松市西区	雄踏町山崎３５４９						山宮神	未踏査
54	社護司（しゃごじ）神社	本社	社護司（しゃごじ）神社	豊受姫命 佐田彦命		○	浜松市南区	老間町１１２							未踏査

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
55	富屋町貴船神社	小祠	お杓子さま		伏せ貝を吹いたことで斬り殺された山伏を供養するために建てられた地蔵といわれる。願をかけると病気が治ると言われ、治るとお杓子を上げて納めた。	○	浜松市南区	富屋町							未踏査
56	オシミッツァマ	小祠	オシミッツァマ		イッケ（同族）の地の神。清水が湧く場所で、源平いずれかの落人を祀ったとも伝わる。（引佐町史）	○	浜松市北区	引佐町別所							未踏査
57	オシャグッツァマ	小祠	オシャグッツァマ		イチモン（同族）の地の神。山裾の檜の下に鎮座（引佐町史）	○	浜松市北区	引佐町谷沢							未踏査
58	細江町三和八幡神社	境内社	左口神社	市杵嶋姫命		○	浜松市北区	細江町三和５２７						社宮神社、左口神社（おさもつさま、さぐ神）	未踏査
59	三ヶ日町岡本 御薗神明宮	境内社	社宮神社	猿田彦神		○	浜松市北区	三ヶ日町岡本１７４４						社宮司神社	未踏査
60	都筑神社	末社	社宮司神社	猿田彦神	八幡宮外二十一社の末社の一つ	○	浜松市北区	三ヶ日町都筑１１７６						社宮神社	未踏査
61	須倍神社	合祀	社宮神社 社宮神社	船戸神 麓山祇命	外宮に合祀された七十余の村内神社に含まれる。	○	浜松市北区	都田町６２８４							未踏査
62	社宮（しゃぐう） 神社	本社	社宮（しゃぐう） 神社	岐(ふなど) 神	おしゃぐつ様 悪疫、災禍を防ぎ、子授けの霊験あらたかの御神徳で崇敬を集めている。願主は杓子を奉納する慣わしがある。	○	浜松市北区	都田町（吉影片瀬）７０２９							未踏査
63	尾野金刀比羅神社	境内社	尺地宮（寄せ宮）	猿田毘古大神	明治十四年、尾野地内の各所に祀られていた十二社を集め、寄せ宮としたうちの一社。正保四年勧請。古い神札には社具土、社口之宮ともある。	○	浜松市浜北区	尾野２６１７							未踏査
64	中条須賀神社	境内社	社宮神社	猿田彦命	明治七年、村内にあった神明社（中条字水神）・社宮神社（字中川原）・山神社（字山神）を境内社とした。（浜北の社寺を訪ねて）	○	浜松市浜北区	中条１							未踏査
65	石神神社	本社	石神神社	石神大神	年を追って成長するという富士石（石棒）を祀る。（遠江風土記伝）同様の伝承は各地にある。	○	浜松市天竜区	石神						石神大神	未踏査
66	社隅地（しゃぐじ） 神社	本社	社隅地（しゃぐじ） 神社			○	浜松市天竜区	石神							未踏査
67	六所神社	境内社	シャゴッツァマ		天竜市史に他にも多くのシャグジが挙げられているが、未特定	○	浜松市天竜区	上野２２６							未踏査
68	新宮神社	合祀	社子神	猿田彦命	「遠淡海地志」では和泉平には帝釈、社子神、天王、大明神があるとされる。 「静岡県周智郡誌」には新宮神社に三社が合祀されているとされている。仏教神である帝釈を除く三社とすれば、社子神も含まれると考えられる。	○	浜松市天竜区	春野町和泉平８５７						社子神	未踏査
69	蛭子神明神社	境内社	社子社	猿田彦命	熊切村胡桃平神明社境内に猿田彦を祭神とする社子社あり。（静岡県神社志） 昭和３年、神明神社を蛭子神社に合祀し、社名を蛭子神明神社と改称	○	浜松市天竜区	春野町石打松下２２２						社子神	未踏査
70	杉小國神社	合祀	社子神社	猿田彦命	明治五年、字高杉にあった社子神社を合祀	○	浜松市天竜区	春野町杉字上ノ山４８５							未踏査
71	長蔵寺諏訪神社	合祀	社子神社	猿田彦命	明治七年、字西カイトにあった社子神社を合祀	○	浜松市天竜区	春野町長蔵寺２２５						社子神	未踏査
72	花島蛭子神社	旧地	おしゃもじ様		蛭子神社の近くの川あたりにあった、今はない榊の木がおしゃもじ様と呼ばれ拝まれていた。（春野町周辺の民俗）	×	浜松市天竜区	春野町花島１１７－３							未踏査
73	堀之内熱田神社	合祀	社護地神社	猿田彦命	明治七年、字明野にあった社護地神社を合祀	○	浜松市天竜区	春野町堀之内２１６				砂御神		砂御神（おさごつっあん）	未踏査
74	秋葉神社	旧称	秋葉射軍神祠		駿河志料にある秋葉射軍神祠に該当すると思われるが詳細不明	○	沼津市	大塚３４１	秋葉射軍神祠						未踏査

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
75	オシャモッサン	小祠	オシャモッサン	社護神	昌源寺の墓地の南側に鎮座。かつては小さな森の中に祀られていた。	○	沼津市	原（原西町）							未踏査
76	鷲頭神社	合祀	左口神	左口神	左口神は、鷲頭神社が明治七年に鷲頭山頂から現在地に遷座した際、合祀された村内全神社の中に含まれる。	○	沼津市	大平１８２４							未踏査
77	諏訪神社 縁結神社	合祀	左口神	左口神	じゃも（疱瘡や皮膚病の痕）を守って下さる神様として祀っていたが、何時の間にか「オシャモジサン」と呼ばれ、あせも・おできの神として信仰されている。（大平山桃源院HP）	○	沼津市	大平２９４３							未踏査
78	石川稲荷神社	合祀	社護師神社	不詳	明治三十七年に社護師神社を合祀	○	沼津市	石川７１０	社宮司社						未踏査
79	左口（しゃぐう） 神社	本社	左口（しゃぐう） 神社	石凝姥命	子どもを愛する神という。多数の石錘が御神体。（ふるさと愛鷹よもやま話）	○	沼津市	東椎路１２０４－１	石神社	石神				石神社	未踏査
80	水口町社宮神社	本社	水口町社宮神社	社宮神	かつて社宮神が鎮座していた森が明治期に田畝となり、一時は個人の庭内に祀られていたが、大正二年、水口の旧地に小祠が建てられた。（熱海町誌）	○	熱海市	水口町							未踏査
81	右内神社	境内社	社護神社	社護神	（静岡県神社志） 境内社一　山神、第六天、淡島、床浦、秋葉、天神、金比羅、社護神等を合祀（増訂豆州志稿八上）	○	三島市	梅名１							未踏査
82	正一位新田 稲荷大明神	地内	おしゃもじさん		江戸中期、富士山の宝永大噴火（1707年）により、当地に逃れ来た人々が、新田稲荷を祀ると同時にこの地に「おしゃもじさん」を祀ったと伝えられる。 昭和中頃までの「おしゃもじさん」は、当地の南方百メートル弱の所にあった小区画に、松の木や榎に守られた三基の石柱を指していたようである。 （梅名自治会、梅名郷土史研究会による現地案内板）	○	三島市	梅名４９８							未踏査
83	赤王（あかおう） 神社	本社	赤王（あかおう） 神社	不詳	かつては赤王山中にあったが、洪水で現在地に流されたという。（増訂豆州志稿八上）	○	三島市	大場８８３						楠石神	未踏査
84	赤王（しゃこう） 神社	本社	赤王（しゃこう） 神社	不詳	大塲村赤王神社の分祀也 初宇入穴に鎮座、後現地に移すと云（増訂豆州志稿八上）	○	三島市	北沢１３９						赤五神社	未踏査
85	見目神社	境内社	御社護地神社	社護神	境内社一　神明、山神、秋葉、福石、八坂、天神、社護神を合祀す（増訂豆州志稿八上）	○	三島市	佐野１				社護神	社護神		未踏査
86	天泊神社	境内社	左宮司社	石神	境内社一　鯨宮、白山、熊野、稲荷、石神を合祀す（増訂豆州志稿八上）	○	三島市	中４－１				石神	石神		未踏査
87	左内神社	相殿	社宮司社	社宮司大神	（静岡県神社志） 村社左内神社祭神不詳、相殿山神石神（増訂豆州志稿八上）	○	三島市	中島西３１０－２							未踏査
88	神明宮	合祀	左宮司社	石神	明治廿年平田村石神社を合併す（増訂豆州志稿八上）	○	三島市	平田５３							未踏査
89	天神社	合祀	左宮司社	石神	明治三十四年左宮司社と山神社を合祀	○	三島市	谷田２７４－２				左宮司神社	左宮司神社	左宮神社	未踏査
90	三宮神社	本社	三宮神社	三宮神	由緒、創建年月不詳。敷地や石垣の状態から、かつては現在より規模の大きな社殿があったと思われる。	○	富士宮市	狩宿４６	左宮司社						2022/9/4
91	社宮司 （しゃぐうじ）神社	本社	社宮司 （しゃぐうじ）神社	社宮司神	「おしゃもちさん」と呼ばれ、検地の道具を納め、稲荷として祀ったとされる。社殿が朱塗りされている。	○	富士宮市	小泉１０４						社宮司	2022/11/19
92	棹地（さおち） 稲荷神社	本社	棹地（さおち） 稲荷神社	宇迦之御魂神	往古、検地竿を納めた所なので、「御竿地（オシャゴチ）」と称される。	○	富士宮市	中央町７－６						棹地稲荷 （おさんごじさま）	未踏査
93	中里東しゃもじ神社	本社	中里東しゃもじ神社			○	富士宮市	中里東町						尺神 （おしゃもすつあん）	2022/11/19

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
94	山本八幡宮	境内社	社護神社		（富士支部神社名鑑）	○	富士宮市	山本字谷戸１	左宮司社					社護神 （おしゃもつっあん）	2022/11/19
95	上稲子三合地社	小祠	上稲子三合地社	三合地	慶長十四年上稲子村御検地終了後、北ヶ谷戸に面積三合の地を求めて器材を納め、コガの木を植えて三合地社の祠を建て、祀ったという。	？	富士宮市	上稲子北ヶ谷戸							未踏査
96	上柚野瀬古三宮司	碑	上柚野瀬古三宮司	三宮司	明治九年土地一筆測量の際、検地が終了した瀬古の地に測量の器材を埋め篠竹を植え、碑を建てて三宮司と刻み祀っている。	？	富士宮市	上柚野瀬古							未踏査
97	大久保八幡宮	合祀	三宮地神	三宮地神	令和元年に区内の三宮地神を合祀	○	富士宮市	大久保６０８	左宮司社	左宮司三	左宮司社 三			左宮司社	未踏査
98	宇佐美八幡神社	境内社	杓子神社		田方神社誌に八幡神社の境内社として記載されるが、他の地誌等に記載なし	○	伊東市	宇佐美字八幡１９１７							未踏査
99	岸町浅間神社	合祀	山護神社	大山祇命	江戸期の岸村にあった山護神を明治十一年に合祀。 山護神の森は現在地東方の北条ヶ谷（通称「入りの谷」）にあり、 岸村の庄屋だった森下家の氏神として祀られていたと伝わる。 （島田風土記 ふるさと六合）	○	島田市	岸町字宮前１	山護神	社宮司	左口司社			左宮司社 山護神	2022/11/5
100	智満寺日吉神社 境内社熊野神社	合祀	砂居子大明神	砂居子大明神	千葉山智満寺の鎮守社として勧請された山王権現を神仏分離に伴い日吉神社に改称。境内社に祀られた多くの神々の一柱が砂居子大明神	○	島田市	千葉２５３			砂居子大明神				2022/11/5
101	東光寺日吉神社	末社	山之神社 （山護神社）	山護神	東光寺の伽藍神である山王権現を明治九年に日吉神社に改称。 明治の神仏分離に伴い、村内に散在する社祠が統合され、参道に末社として祀られたうちの一社が山護神社。 旧社地は当地の南方にあり、山護神（さごじ）呼ばれた。地名と社地の痕跡がわずかに残る。（島田風土記 ふるさと六合、今川氏と東光寺）	○	島田市	東光寺６１４	山護神		社宮司			社宮神 山護神	2022/11/5
102	阿知ケ谷天満天神社	境内社	山護神社	大山祇命	阿知ケ谷字山ノ神にあった山護神社を明治十二年に境内社とした。 （島田風土記 ふるさと六合）	○	島田市	阿知ケ谷６２４						社宮神	2022/11/5
103	山の神（山護神）	旧地	山の神（山護神）	山護神	東昌寺跡の近くに山護神の遺跡がある。土地の人は「おしゃもっさん」と呼んでいる。（私たちの郷土阿知ヶ谷誌）	×	島田市	阿知ケ谷							2022/11/5
104	左軍神社	本社	左軍神社		貴重な独立社だが、由緒に関する資料は一切見つからない。	○	島田市	伊太（旗指）						社宮神 村の土神	2022/11/5
105	おしゃもじ地蔵	本社	おしゃもじ地蔵		別名イボとり地蔵と呼ばれる。 平癒を祈願し、イボが取れるとお礼にしゃもじを納める。 創祀年月不明だが、大正から昭和にかけて近在に崇められたという。 神谷城の「神」は旧石神村に由来する。	○	島田市	神谷城字中尾６５９							2022/7/18
106	釈地尊天堂 （おしゃもじ様）	本社	釈地尊天堂 （おしゃもじ様）	釈地尊天	新田開発の検地に使用した尺棒を埋め、土地神を祀ったとされる。 掛川誌稿に「田野ノ間小キ森ニ古楠樹一株四抱許ナルアリ、其下ニアル小祠ナリ、夜叉神ヲ祀ルト云」とある。 現在は帝釈天として祀られているという。 （村の生い立ちと歩み－志戸呂五個村と牛尾村－、かなやの史話・民話・伝説見て歩く）	○	島田市	牛尾字本田山１４４３				夜叉神		社宮子 石神、杓子共	2022/11/11
107	敬満神社	合祀	三狐神社	御食都神	明治七年五月三狐神社（元地 久保沢）を合祀	○	島田市	阪本４０５４－１							2021/11/28
108	社護子神社 （お杓子神社）	本社	社護子神社 （お杓子神社）	社護子大神 （咳の神）	川坂のおしゃもっさん 近隣から咳の神様として厚く信仰されている。 （ふるさと富士川第二集）	○	富士市	中之郷字川坂３９７２－４						社宮司	2021/11/10
109	木島のおしゃもっさん	小祠	木島のおしゃもっさん		木島の家並みの中程におしゃもっさんがある。 昔は広く、境内に桜やもちの木があり、小正月にはドンド焼が行われた。 子どもの夜泣きや病気の神様で、願をかけて治ると礼に杓文字を納めた。 （ふるさと富士川第二集）	？	富士市	木島							未踏査

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
110	室野のおしゃもっさん	小祠	室野のおしゃもっさん		室野のおしゃもっさんは室野の北のはずれにある。 昔、室野の土地に初めて住み着いた人たちの長（おさ）を祀ったといわれ、 家を建てる時の縄張りに使った杓子定規を祀ったといわれる。 （ふるさと富士川第二集）	?	富士市	木島字室野							未踏査
111	大北のおしゃもっさん	小祠	大北のおしゃもっさん		北松野にはおしゃもっさんが二ヶ所あった。 両方とも子どもの神さまで、子どもが病気したような時は、 近所の人が治るようにお杓子をあげた。 祭日は神さまに御題目をあげて、赤飯をたいて子どもたちにくれた。 （ふるさと富士川第二集）	?	富士市	北松野字大北							未踏査
112	清水ケ糸のおしゃもっさん	小祠	清水ケ糸のおしゃもっさん			?	富士市	北松野字清水ケ糸							未踏査
113	原方のおしゃもっさん	小祠	原方のおしゃもっさん		原方のおしゃもっさんは子どもの夜泣きの神さんで、 夜泣きする子どもで困ってしまうと、 おしゃもっさんに油揚げを二、三枚供えて、治るようにお願いした。 （ふるさと富士川第二集）	?	富士市	南松野字原方							未踏査
114	平清水のおしゃもつさん	本社	平清水のおしゃもつさん		大正二年の松野村誌に掲載された「南松野村諸神々御社諸寺々寺内目録」 （元禄期の作成と思われる）に平清水の社宮神が記載されている。	○	富士市	南松野字平清水							2023/7/30
115	岩本のおしゃもっさん	小祠	岩本のおしゃもっさん	社宮地之大神	歯痛の際、納めてあるしゃもじでさすると痛みが治まるとされる。 治れば新しいしゃもじを返す。	○	富士市	岩本（旭町）	左宮司					おしゃもす様	2022/7/30
116	稲荷神社	配祀	社宮司神社	社宮司神	富士支部神社名鑑に稲荷神社の配祀神として社宮司神が記されている。	○	富士市	本市場９２－１							未踏査
117	横割社宮司神社	本社	横割社宮司神社	社宮司神	安永三年（1774）の棟札に社宮司神の記載がある。 （富士支部神社名鑑）	○	富士市	横割本町１１	石神社	石神祠	石神社			社宮司神社	未踏査
118	原田五社神社	合祀	社護神社	社護神	明治以降に合祀	○	富士市	原田１１４０	左宮司社					石神社 （おしゃもつっあん）	2022/11/19
119	西比奈春日神社	摂社	尺地神社	尺地神	本殿に三つの祠があり、右側に尺地神が祀られている。 明治四十年に合祀した尺地神社は現在の日本製紙工場敷地内（字西障子816）に鎮座していた。昭和の初め頃まで旧地も祀られていたが、周囲が藪となり祀る人もいなくなったという。尺地神社に祀られていた石は、現在八坂神社の本殿前に祀られている。（吉永地区神社の歴史）	○	富士市	比奈字蔵屋敷９６６	左口司社	シャゴジ	石神祠			尺地神 （おしゃごつっあん）	2022/11/19
120	西比奈八坂神社	関連	尺地神社	尺地神	西比奈春日神社の境外社。隣接する日本製紙工場敷地内（字西障子816）に鎮座していた尺地神社に祀られていた石を本殿前に祀る。 （吉永地区神社の歴史）	－	富士市	比奈字西障子８４２	左口司社					尺地神 （おしゃごつっあん）	2022/11/19
121	中比奈御崎神社	配祀		尺地神	（富士支部神社名鑑）	○	富士市	比奈字御崎戸１０６６						尺地様 （おしゃもじさま）	2022/11/19
122	江尾のおしゃもっさん	小祠	江尾のおしゃもっさん	尺地神	おしゃごっさんともいう。 検地の際に使った間竿（お尺）を納めて祀ったといわれ、 「お尺もち」が「おしゃもち」に訛ったとされる。 祠の下に湧水があり、毎月１日と15日に塩と米とシバを供える。 （広報ふじ平成11年「富士の民話あれこれ」）	○	富士市	江尾						おしゃもつ様	未踏査
123	間門浅間神社	配祀	佐口神 （さくじん）社	岐ノ神 猿田彦命	境内社 五社宮神社の一つ（吉永地区神社の歴史）	○	富士市	間門字峰山２４０			石神				未踏査
124	鵜無ケ淵神明宮	境内社	石能神	石神 岐神	（吉永地区神社の歴史）	○	富士市	鵜無ケ淵字宮後２９５							未踏査
125	船津浅間神社	境内社	石自神宮	石自大明神	石自（しゃくじ）神宮。俗称おしゃもつさん。 昔検地に使われた物差しを祀ったものと云われている。（郷土誌浮島）	○	富士市	船津６１９							未踏査
126	笠梅六所神社	境内社	オシャモッサマ		六所神社北の小祠。風邪や寝小便に御利益ありと伝わる。（磐田昔がたり）	○	磐田市	笠梅７９７－１							未踏査

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
127	西貝塚須賀神社	境内社	社口神社	猿田彦命	勧請年月不詳。明治九年三月、本村字源次郎谷から遷座	○	磐田市	西貝塚１４３７							未踏査
128		合祀	オサグッさま		舎軍利の坂の中腹の林の中に祀られていた小祠を合祀									おさぐつあん	未踏査
129	中泉の御社文字様	小祠	社口神社		「石神問答」の山中笑（共古）による「見付次第」に記載あり。中泉代官所の入口に鎮座し、代官所の守護神だったという。現在は磐田駅の一角に保存されている。	○	磐田市	中泉字御殿						おさもつさま	未踏査
130	石宮神社	本社	石宮神社	猿田彦命	太郎馬新田の氏神。シャグウ神社、あるいはイシミヤ神社という。 磐田市浜部との境に近接する。（福田町史資料編民俗） 角川日本地名大辞典では社子神社とする。	○	磐田市	太郎馬新田４１							未踏査
131	大当所諏訪神社	相殿	社宮司社		オシャモツ様。かつて諏訪神社鎮座地麓の社宮司集落で祀られていたシャグジが同社境内に遷座され、昭和に入り、相殿となった。（豊岡村郷土研究クラブ「しのびぐさ」）	○	磐田市	大当所２９６							未踏査
132	野邊神社	境内社	社宮司神社	不詳	明治九年、磐田郡敷地村字社宮司から遷座	○	磐田市	敷地９４０						おしゃぐりさま	未踏査
133	八楠加茂神社	境内社	左口神社	不詳	総国風土記の箭葛（八楠）の項に「柳田神社 大化二年（646年）丙午二月所祭“雙栗神”也」とあるのが加茂神社といわれ、シャグジとの関係が想起される。	○	焼津市	八楠字押洗３６０						社宮司	2022/12/10
134	大覚寺下八坂神社	境内社	左口神社		鎌倉時代の弘安三年(1280年)、八坂神社と同時に山王神社、八王子神社、左口神社を勧請（志太地区神社誌）配神　左杓司等（静岡志太郡西益津村誌）	○	焼津市	大覚寺１丁目字楠木９－１							2022/12/10
135	焼津北大井神社	摂社	左口神社	猿田彦命	通称「おしゃもんさん」。個人宅の敷地内にあった左口神社を明治三十四年に合祀。	○	焼津市	駅北２丁目字六林５－１３	左口司社	左口社	左口祠			社口祠	2023/8/13
136	焼津神社	境内社	佐宮子社	不詳	かつては焼津神社の境外末社に位置付けられ、「天白の森」として、天白社とともに祀られていたようだ。（焼津町誌）天白社は現在境内社の一つとなっているため、佐宮子社もともに祀られていると思われる。	△	焼津市	焼津２丁目字宮之腰７－２	社宮司		社宮司			社宮司	2023/8/25
137	天皇神社	合祀	左口松		今井野菊氏の踏査記録に「益津郡中村天王山内西ノ宮口」に所在する「佐宮司社」がある。駿河志料にある社宮司社、万延元年の絵図にある「左口松」のことと思われる。	△	焼津市	焼津市駅北５丁目１－２６	社宮司社		社宮司社			佐宮司社	2024/8/25
138	小柳津西宮神社	境内社	左軍神社		明和九年の小柳津村明細に「さこし（左口）社」と記される。	○	焼津市	小柳津２３７							2022/8/20
139	五ケ堀之内三嶋神社	合祀	左口神社	猿田彦命	明治三十三年、元の若宮八幡宮の北側にあった左口神社を合祀	○	焼津市	五ケ堀之内１００１	社口司社	社宮司	左口司社			社宮司社	2022/10/1
140	三ケ名神明宮	合祀	左口神社	左口神	明治三十三年、境内社八王子神社に左口神社を合祀	○	焼津市	三ケ名字伊勢島９８０	左口司	社宮司	左宮司社				2022/10/1
141	石津八幡宮	合祀	左軍神社	猿田彦之命	明治四十年、石津字西浦にあった左軍神社（通称オシャモッツァン）を合祀（志太地区神社誌）八幡宮の棟札に記された「三五権現」もシャグジの可能性がある。（小川町誌）	○	焼津市	石津字宮ノ西４４８							2022/10/1
142	小川新町左口神社	本社	左口神社	猿田彦命	当地は古くから田地の中に小社を有し、樹木鬱蒼としていたことから左口森と呼ばれた。通称オシャモッツァンと呼ばれる。	○	焼津市	小川新町４丁目字左口森３						左口社	2022/1/30
143	中里若宮八幡宮	境内社	社護神社	社護神	境内社の社護神社は大井神社、秋葉神社、白髭神社と共に長屋式の社殿に寄せられている。	○	焼津市	中里字久保１０００							2022/12/10
144	那閉神社	境内社	青木神社 （左口社）		浜当目にあった「青木の森」に祀られていた左口大明神の社地に、戦国末期の武田方豪勇の士、須藤左門を祀る石社が造立された。 現在は青木神社として那閉神社境内に遷座されている。 （焼津市史 民俗編、ふるさと東益津誌）	○	焼津市	浜当目３丁目字那閉崎 １２－１３	社口社	左口社					2023/8/13 2023/11/11

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
145	元小浜のおしゃもっつあんの森	森	左口明神		木を切ると祟があると言い伝えられ、村人全体が神域視している。（塩澤藤雄「高草山麓のむかし話」） 寛政八年の「駿河めぐり」に「坂の間数千回 此間を元小濱と云ふ。左の海邊にゑぼし岩、山の麓に、左口明神の森在り。」とある。	○	焼津市	焼津市小浜							2024/12/21
146	花沢の オシャモッツァン	本社	オシャモッツァン		歯痛や子どもの病気に御利益があると言われ、花沢の人々に信仰された。 祠はなく、山肌に自然石が露出している場所自体を拝む。	○	焼津市	吉津							2023/8/13
147	石脇浅間神社	境内社	社宮司		農耕神、開拓神として祀られていたと考えられる。通称おしゃもつあん	○	焼津市	石脇下字谷７０５	左宮司		社宮司社			左口神社	2023/8/25
148	方ノ上八王子神社	合祀	西宮神社	事代主神	「おしゃもつあんの杜はいつの間にか祭神の無い西宮明神と呼ばれるようになつた。」「おしゃもつあんが一石の有資格の神社となり遂には農作業の場所となり消えて行つてしまつたのです。」（塩澤藤雄「高草山麓のむかし話」）	○	焼津市	方ノ上字彦山１４９	西宮社	西宮	西宮社				2024/8/10
149	高草山の一本杉	旧地	おしゃもつあん		かつて「おしゃもつあん」が祀られていたといい、一本杉は枝を切るだけでも祟りがあると伝わる。（塩澤藤雄「高草山麓のむかし話」）	△	焼津市	関方字カナケクボ							2024/7/15
150	和田神社	境内社	左口神社	猿田彦命	明治三十三年、字上新並にあった左口神社を天白社、水神社、天神社と共に合祀（和田浦）	○	焼津市	田尻１	山護神						2023/1/15
151	栄田神社	合祀	左口神社	猿田彦命	明治四十年、北新田字弥平西にあった左口神社を合祀（和田浦）	○	焼津市	田尻北１							2023/1/15
152	上小杉八幡宮	境内社	社護神社	大名牟遅神 小名毘古那神	八幡宮の末社として奉祀。元禄期に神社及び神官宅が火災に遭い、旧記を失ったため、由緒不明（静浜村誌、大井川町史）	○	焼津市	上小杉字本郷８５							2023/8/19
153	御社守稲荷	本社	御社守稲荷	倉稲魂命	藤守八箇森の一つ、「椀貸の森」に鎮座。オシャモリサン、オシャモジサン、おしゃもつ様などと呼ばれ、シャグジ信仰と稲荷信仰が習合している。（東京女子大学民俗調査団「藤守の民俗」、大井川町婦人団体連絡会「ふるさとの年中行事」、「大井川町史」）	○	焼津市	藤守字柿崎						御社守稲荷	2022/8/11 2024/4/29
154	藤守八箇森	旧地	オシャモジの森		白鳩が藤守大井八幡宮の御供に用いた杓子を啄み、この森に置いたことに由来する。また、この森には袖切松という大松があったといい、明治の初めまで、ここで躓いた者は必ず袖が切られていたとの伝承があった。	×	焼津市	藤守字松木根							2024/4/29
155	吉永八幡宮境内社 稲荷神社	合祀	社子神社	少彦名命	元は字西川原にあり、文政年中に字上島の熊野神社境内社となった。明治九年、熊野神社と共に吉永八幡宮境内に遷座。さらに、昭和三年、八幡宮境内社の稲荷神社に合祀された。（吉永村誌）	○	焼津市	利右衛門字大島８８３							2023/8/19 2024/5/19
156	川関神社	合祀	左口神社		往古は水防の神として川堰神社と称した。 中古は九社大明神と称し、若宮八幡宮、西宮大神宮、稲荷神社、清水神社、白山神社、愛宕神社、左口神社、水神社、牛頭天王を祀り、主神を清水神社として諸神を合祀。のち、元の川関神社に改めた。（志太地区神社誌、西益津村誌）	○	藤枝市	稲川１丁目１１－４	九社明神	九社明神 清水明神	九社明神 社				2023/1/15
157	左車神社	本社	左車神社	八衢比古神 八衢比売神 岐の神	建長４年、宗尊親王が鎌倉下向時に暴風晦瞑に逢い、折損した乗輿の車輪の埋納地を祀ったとの伝承があり、旧地名の由来ともなっている。 通称「おしゃもっさん」	○	藤枝市	本町４丁目６－１５	左車山 休息寺	左車山 休足寺	左車山 休足寺			左車 おさもつさま	2021/12/12
158	青山八幡宮	摂社	社軍司神社		水守、鬼島、八幡の三村の境界が接する地点にある。 東海道分間延絵図では三軍神と表される。青山八幡宮の境外摂社	○	藤枝市	八幡		社宮司	左口司社			社軍司神社	2020/3/22
159	横内のおしゃもっつあん	霊木	杉大明神		旧国道１号線横内橋の下り線左側の堤下に大きな杉の古株があった。おしゃもつあんの霊木で、注連縄が祀ってあったという。（塩澤藤雄「高草山麓のむかし話」）	○	藤枝市	横内字平松							2025/1/25 2025/2/1
160	佐護神社	本社	佐護神社	意富多多根古命、屋福久々能知命	三輪家の屋敷神。明治初年まで三輪家の屋敷があった場所にあり、三輪家により祀られている。通称「おしゃもっつぁん」。近くの小字名に「佐護神ヶ谷」がある。（岡部史談　岡部のお宮さん）	○	藤枝市	岡部町三輪字札ノ辻 ５４２－１							2021/12/12
161	佐護神社	本社	佐護神社		立石神社例祭の際、神輿の御旅所の守護として古来祀られてきた。別名「お社護（しゃも）っつぁん」（岡部史談　岡部のお宮さん）	○	藤枝市	岡部町内谷２６２－１－５							2021/12/12

静岡のシャグジ踏査集成

ごんぶと@長沼　作成　　令和七年二月四日時点

No	本社等の名称	区分	シャグジ社等名称	祭神	備考	現存	市町村	字地番	駿河志料	駿河國新風土記	駿河記	掛川誌稿	豆州志稿	今井	踏査
162	内谷丸山神社	末社	佐護神		古来大頭竜神社と称したが、明治十一年に丸山神社に改称。末社に佐護神、山神、稲荷大明神、秋葉神社、白山神社が祀られているが由来は不明（岡部史談 岡部のお宮さん）	○	藤枝市	岡部町内谷字山東１９２０							2023/11/5
163	朝日稲荷神社境内社 五社神社	寄宮	軍神社		岡部氏築城と伝わる朝日山城跡に稲荷神社があり、近隣にあった小祠が五社神社として寄せられている。五社のうち軍神社は朝日山東麓にあった岡部氏屋敷の屋敷神だったといい、屋敷跡には三ヶ所の塚があった。現在は南隅の塚だけが残り、「おしゃもっつぁん」と呼ばれている。（仮宿歴史研究会）	○	藤枝市	仮宿１							2016/7/31 2021/12/12
164	高柳神社境内社 神明宮	合祀	左軍神社	左軍神（猿田彦命）	元は村社八幡宮の境内社。八幡宮は明治四十四年に旧大井神社に合祀され、大井神社は高柳神社に改称。左軍神社も八幡宮とともに大井神社境内に遷座し、境内社の神明宮に合祀された。（志太地区神社誌、志太郡高洲村誌）	○	藤枝市	高柳３丁目 字大明神２６－２２							2020/3/22
165	飽波神社境内社 七ツ森神社	合祀	熊野神社	伊邪那美神 事解之男神 速玉男神	飽波神社の周辺に祀られていた熊野神社、作神社、諏訪神社、泉社、稲葉社、進雄社、藤森社の七社を明治四年に飽波神社境内に遷し合祀し、七ツ森神社とした。（飽波神社リーフレット）	○	藤枝市	藤枝５丁目１５－３６	熊野森 社宮司	左口神社	熊野権現森			社宮司	2023/1/15
			作神社	阿遅志貴高 日子根神					作神森 社宮司		作神の森				
166	平島のおしゃもつさま	小祠	佐護神（サグジン）	佐護神	平島・水守・市部地区の境界点にあり、地元では「おしゃもつさま」と呼ばれている。表記は「佐護神（サグジン）」であり、榎、槇などの樹木と一体となった境界神としてのシャグジである。（藤枝市史 別編 民俗）	○	藤枝市	平島							2020/3/22